

## II 愛知県の交通事故の現況



## II 愛知県の交通事故の現況

### 1 過去5年間における交通事故発生状況

本県の交通事故発生状況の推移を見ると、過去5年間における死者数の増減率は平均して－4.9%と、全体としては減少傾向である。

平成28年の死者数は、前年より1人減少したものの、14年連続して全国ワースト1位であった。

また、死傷者数及び人身事故件数についても、前年より減少したものの、全国ワースト1位であった。

全国ワースト1位の要因として

- ・自動車保有台数、道路実延長及び運転免許人口の交通関係指標が全国的に見て高いこと
  - ・自家用自動車の利用割合が他の大都市圏に比べて高いこと
- 等の本県独自の交通環境が影響していると考えられる。

#### 【過去5年間における交通事故発生状況等】

【愛知県】

区分		年				
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
自動車保有台数(千台)		5,049 (100)	5,091 (101)	5,145 (102)	5,177 (103)	5,220 (103)
運転免許人口(千人)		4,977 (100)	5,013 (101)	5,040 (101)	5,062 (102)	5,084 (102)
人 口(千人)		7,426 (100)	7,435 (100)	7,445 (100)	7,461 (100)	7,508 (101)
高 齢 者 (千人)		1,578 (100)	1,647 (104)	1,713 (109)	1,763 (112)	1,799 (114)
人 身 事 故	件 数 (件)	① 49,651 (100)	① 48,949 (99)	① 46,131 (93)	① 44,369 (89)	① 41,551 (84)
	死 者 数 (人)	① 235 (100)	① 219 (93)	① 204 (87)	① 213 (91)	① 212 (90)
	負 傷 者 数 (人)	① 61,576 (100)	① 60,867 (99)	① 57,183 (93)	① 55,070 (89)	① 51,087 (83)

(注) ・自動車保有台数は、各年12月末現在(愛知運輸支局:自動車保有車両数)

・運転免許人口は、各年12月末現在(愛知県警察:愛知県の運転免許人口)

・人口は、各年10月1日現在(愛知県:あいちの人口(推計))

・( )内は、指数を示し、平成24年を100とする。

・○数字は、全国ワースト順位を示す。

## 2 平成28年中の交通事故発生状況

県内で発生した死亡事故の死者は、212人で前年と比べ1人減少した。

### 【平成28年中の交通事故発生状況】

区分	人(件)数		前年比	増減率
	平成28年	平成27年		
死者数	212人	213人	-1人	-0.5%
負傷者数	51,087人	55,070人	-3,983人	-7.2%
人身事故件数	41,551件	44,369件	-2,818件	-6.4%

## 3 平成28年中の交通死亡事故の特徴

### (1) 年齢別

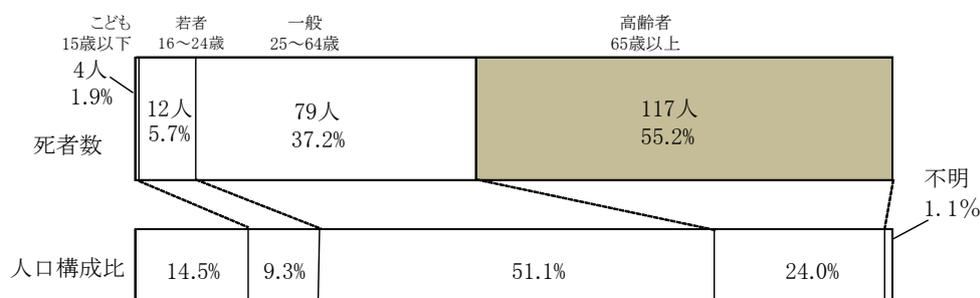
高齢者の死者は117人(前年対比-5人)で、全死者の55.2%と5割を超え、人口構成比24.0%の2.3倍と高い割合となった。

高齢者の当事者別では、歩行者(60人)と自転車(17人)を合わせて6割を超えた。

歩行者・自転車のうち、免許の未保有者が約9割を占め、自宅から500m以内で事故に遭った者が7割を超えた。

事故類型別では、横断中(49人)に多発した。

### 【年齢別の交通事故死者数及び人口構成比】



(注)人口は、平成28年10月1日現在(愛知県:あいちの人口(推計))

### 【高齢者の交通死亡事故発生状況】

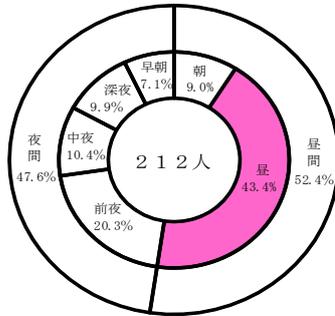
当事者別(高齢者)	死者数	構成率
歩行者	60人	51.3%
自転車	17人	14.5%
原付	8人	6.8%
自動二輪	1人	0.9%
四輪車	30人	25.6%
その他	1人	0.9%

事故類型別(高齢者)	死者数	構成率
横断中	49人	41.9%
出合頭	22人	18.8%
車両単独	22人	18.8%
正面衝突	3人	2.6%
その他	21人	17.9%

(2) 時間帯別

昼(AM9～PM6)が、92人で最多であった。

【時間帯別の交通事故死者数】



区分		死者数	構成率	増減数
昼間	朝 (A6～A9)	19	9.0%	-3
	昼 (A9～P6)	92	43.4%	1
夜間	前夜 (P6～P10)	43	20.3%	0
	中夜 (P10～A0)	22	10.4%	7
	深夜 (A0～A4)	21	9.9%	-5
	早朝 (A4～A6)	15	7.0%	-1

(3) 道路形状別

交差点の死亡事故は、89件(91人)で、全国最多で、構成率(43.0%)は、全国平均の33.7%より高く、全国4位であった。

当事者別では、歩行者(36人)と自転車(17人)を合わせると約6割を占めた。

事故類型別では、横断中が35件(39.3%)、出合頭が32件(36.0%)で多発した。

【道路形状別の交通事故発生状況】

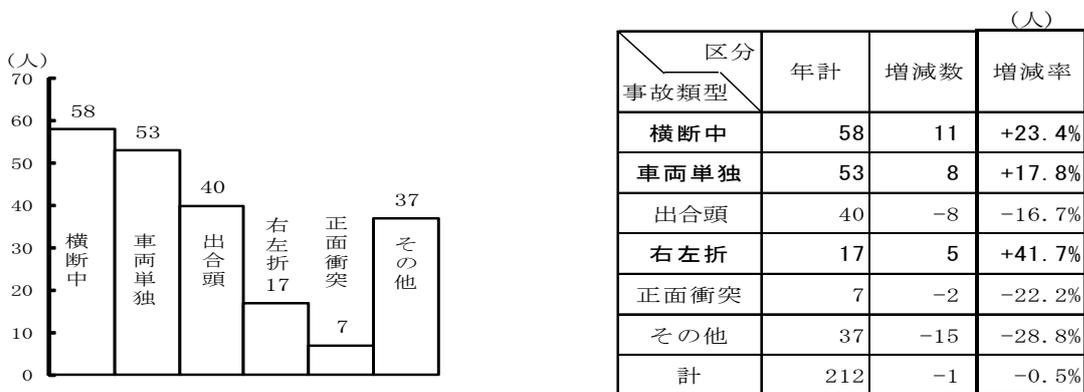
交差点内 89件(43.0%)					
大交差点	中交差点	小交差点	交差点付近	単路	その他
13件 6.3%	59件 28.5%	17件 8.2%	35件 16.9%	76件 36.7%	7件 3.4%

- (注) 大交差点 …… 第一当事者進入路の道路幅員が13m以上  
 中交差点 …… 第一当事者進入路の道路幅員が5.5m以上13m未満  
 小交差点 …… 第一当事者進入路の道路幅員が5.5m未満  
 交差点付近 …… 交差点の側端から30m以内

(4) 事故類型別

横断中、車両単独及び右左折が増加した。

【事故類型別の交通事故死者数】

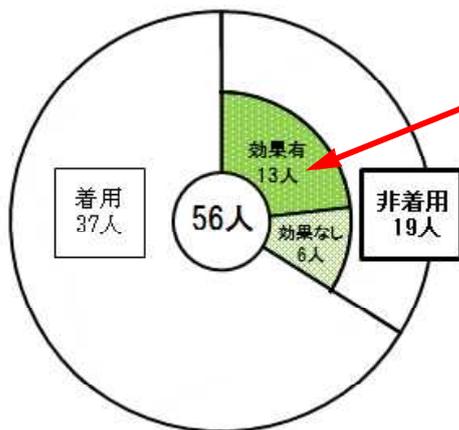


(注) その他は、追突、路上作業中、工作物衝突など

(5) シートベルト着用状況

平成28年中の四輪車乗車中の死者56人のうち、シートベルト非着用者は19人(33.9%)で、このうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる人は、13人(68.4%)であった。

【四輪車乗車中死者のシートベルト着用状況】



シートベルトを着用していれば  
助かったと思われる人(13人)

